

令和6年度 壱岐市立箱崎小学校 学力向上プラン

【学校教育目標】
 確かな学力、豊かな人間性、たくましく生きるための健康や
 体力を有し、自分らしく輝く子どもの育成



- (知)かしこい子…進んで学ぶ子ども
- (徳)やさしい子…思いやりのある子ども
- (体)たくましい子…元気に活動する子ども



《昨年度の研究の課題と成果より》

△「書く活動」を仕組むことが、主体的な学び合いの一要素とはなるが、主体的な学び合いを実現するためには別の手立てが必要である。

△適切な算数用語の使用や文章表記による表現力を身につけさせることで、ねりあげの際に主体的な話し合いを進められるようにしていく必要がある。

○校内授業研究に全職員で取り組み、ねりあげの仕方の検証、評価問題まで1単位時間で実施する授業の方法を確立した。

○共通実践項目を決め、3学期に取り組むことで、研究授業での学びを活かすことができた。

《検証方法》

①CRT学力テストの全国比における数値目標による検証

- ・全校平均が「全国比110以上」
- ・昨年度の自学年の平均得点率を上回る。

②漢字・計算検定による検証

- ・年5回の実施において、全校児童の合格率が「漢字検定90%以上」「計算検定80%以上」

③校内研究授業における検証

- ・学校訪問、校内研授業において、授業分析シートでの評価の集計「しらべる課程とねりあげの課程の全項目が2.4以上」
- ・箱崎小学校が理想とする主体的な学び合いに向けた、めざす児童の姿を実現するための指導案を基に、授業を実施し、児童の学びの姿を評価する。

《学力調査の結果より》

【昨年度のCRT学力検査(国語)より】

- 2観点平均得点率における全校平均は、全国比105を超え、さらに昨年度平均より上昇した。
- △領域別では、思考・判断・表現において課題が見られる。

【昨年度のCRT学力検査(算数)より】

- 2観点平均得点率における全校平均は、全国比110を超えている。
- 思考・判断・表現において、昨年度よりよい結果となった。(全国比114)学習タイムでの思考力問題への取組が良い結果につながっている。
- △知識・技能に関しては、昨年度より低くなっており、定着を図るための手立てが必要である。



《校内研究を中心にした実践》

研究主題 主体的な学び合いの実現に向けて、書く活動を効果的に仕組む算数科授業の実践

《日々の授業改善》

- 「第五版 体験的な活動を取り入れた問題解決的な学習過程」の活用
- 全体授業、部会授業における授業分析シートを用いた相互評価
- しらべる過程における理由や根拠を明確にした書く活動の充実
- ねりあげる課程における児童が主体的に学び合う学習活動の工夫
- 校内研究授業後の共通実践への取組とその共有
- タブレット教材、資料の共有による授業準備の効率化

《スキルアップへの取組》

- 学習タイムの計画と実施
- 年5回の漢字・計算検定の実施
- 新聞読み解きシート等による読解力育成
- ガイド学習の実践推進
- 学力テストの分析と活用

《学習環境の充実・学びに向かう体力の育成》

- タブレット端末の効果的な活用と情報活用能力体系表を基にした指導によるスキルアップ
- UDの視点に立った教室環境整備
- 図書室環境の整備・読書活動の充実による読書量の増加
- 「親子でチャレンジ! 体づくりビンゴ」に年9週間取り組み、親子で関わる時間の増加

《家庭学習の充実》

- 「学びの習慣化」の活用による学校と家庭との連携
- 家庭学習時間の確保と自主学習の推奨
- 月1度の「はこ1グランプリ」の実施による自主学習ノートへの取組の活性化